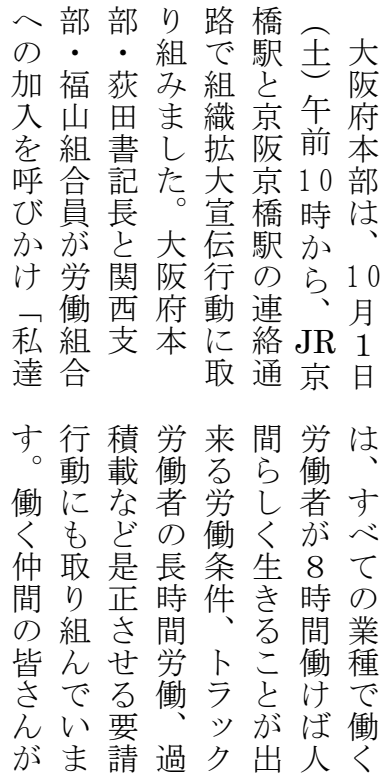




大阪府本部組織拡大宣伝行動

大阪府本部は、10月1日は、すべての業種で働く

労働者が8時間働けば人間らしく生きることが出来る労働条件、トラック労働者の長時間労働、過積載などは正させる要請行動にも取り組んでいきます。働く仲間の皆さんが



発行元 府本部
電話 06-4800-7115

一致団結して力関係を変えていきましよう。」と訴えました。中央本部が作成したビラは、コロナが理由で仕事が減った、低賃金で生活が苦しい、人手が足りず仕事が回らない、職場でハラスメントがある、突然解雇されてしまった。など様々な問題を抱える労働者向けの内容で、宣伝行動は約40分間で400個のテキストシユビラを配布。各支部からの参加者は、関西支部3名、大阪合同支部2名、此花支部1名、大阪府本部役員2名が参加しました。



JR京橋駅・宣伝行動

[illegible]

目的に合わせて選べる便利なフレックスローン！

くご相談、お申込みなどのお問合せは>

梅田支店

TEL 06-4796-2777

〒531-6005 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト5階
お問合せ時間 月曜～金曜 9:00～17:00
(祝日、12月31日～1月3日は除く)

(祝日、12月31日～1月3日は除く)

大阪合同支部第19回定期大会開催

大阪合同支部は10月8日(土)13時30分から国労大阪会館にて第19回定期大会を役員12名と代議員16名(委任を含め)が出席して開催し、2022年度一般経過報告、会計決算・監査報告、2023年度運動方針、予算、スト権を確認する一方、新役員を選出しました。3名が傍聴参加しました。

定期大会では、支部を代表して阪口委員長が「政治では、国葬問題や反社会的集団である統一協会と政治家の癒着など深刻な状況になっている。大阪では、維新政治のもと21万のカジノ反対署名を握りつぶすなど府民犠牲の悪政が行われている。一方、異常な円安によって物価が高騰



阪口執行委員長あいさつ

組織の強化拡大にむけ奮闘しよう」と挨拶されました。

運動方針・予算・スト

権を全員賛成で決定

第19回定期大会では、松澤書記長が2022年

度一般経過報告、2023年度運動方針案を報告・提案し、伊藤財政部長が会計決算報告及び予算案、田中会計監査が報告・提案。森書記次長が2023年度重点要求・課題でのスト権確立を提案しました。一般経過報告は拍手多数、会計決算報告及び監査報告、2023年度運動方針案、予算案は、全員の賛成で確認決定しました。

議案に対する討論で

は、阪急バス分会、新協建設工業分会、絆ホールディングスグループ分会、沿岸サービス分会、泉物流産業分会、共同輸送分会、DSV分会などの代議員と傍聴者の9人が、職場での要求実現や問題点、組織拡大の重要性などについて発言し、討論に参加しました。2023年重点要求・課題でのスト権投票では、全員の賛成で確立し、次期

2023年度新役員体制

執行委員長	阪口 昇治	執行委員	岡本 英裕	会計監査	田中 孝史
副執行委員長	大西 規善	執行委員	長崎屋 勉	会計監査	森 久美子
書記長	松澤 伸樹	執行委員	前田 欣也		
書記次長	森 渉	執行委員	松永 健		
執行委員	伊藤 正光	執行委員	和田 成弘		
執行委員	上村 一丸				

神田支部第88回定期大会開催

建交労神田支部第88回定期大会が、10月2日(日)に東京トラック健保会館にて2年ぶりに現地開催で行われ、執行部18名、代議員66名の計84名(二部ズーム参加2名・委任状提出者2名)が参加しました。

冒頭、前山常任より開会の挨拶と大会諸役員の提案が行われ、コアテクノ分会の葛目代議員と岩槻分会の小池代議員が議長として選出されました。そのあと、本大会に中央本部鈴木書記次長と中央労働金庫一ツ橋支店から安田支店長が来賓と来て頂き激励のあいさつをして頂きました。

その後、執行部を代表し上村執行委員長から

の挨拶があり、世界紛争に起因する原油価格の高騰と、急速に進んだ円安の影響による物価高騰が影響し10月1日から約6,700品目が値上げなど私たちの暮らしは以前にも増して厳しい状況となっている。またトラック運輸産業に目を向けるとこの間、改善基準告示作業トラック部会にて前々から議論となっている長



時間労働などの具体化について若干の改善は進んだが未だ労使での考えに大きな隔たりがあり、今後とも労働環境改善のために労働組合として奮闘していきたいと決意を述べられました。また神田支部の組織建設について、8月末には1,957名の組織建設を達成したが離職者が多いのも現状であり、組合未組織である会社の組織化も視野に入れつつ2,200名組織の建設を目指し更なる組織強化を

目指していくと発言し挨拶を締めくくりました。

続いて石塚書記長から2022年度の総括と2023年度運動方針(案)が提案され、提案の中では、この間、前レキスト使用人間題ならびこの間のカンダグループ内でのコンプライアンス問題など、労働組合として不正を許さず引き続き会社にはコンプライアンスの遵守徹底を求めると同様に組合では、未だに長時間労働をしている職場に関して安心安全な職場環境をめざす為に、会社には、労働時間改善と今後一切こういった職場を作らないよう組合としてチェック体制を強化していくとの報告がありました。

その後、大貫常任より2022年度会計報告並びに

監査報告と2023年度予算編成(案)が提案され、大塚会計監査より監査報告がありました。

次に石塚書記長より特別報告が行われ2018に発生した前書記に対する最終報告があり訴訟の結果と返済状況、今後の返済対応の見通しなどの報告がありました。休憩後の質疑・討論では、13の分会から各分会が現状抱えている問題や職場要求についての報告があり、最後に青年婦人部からの活動報告が行われました。その後各議案の採決が行われ、一般経過報告・会計報告・監査報告、予算編成(案)並びに諸決議(案)、大会宣言(案)と大会スローガン「物価高騰、コロナ禍での神田支部の必要性を示し、組織的力強化に向けて更なる躍進を!!」を

関西合同支部第47回定期大会開催

第47回関西合同支部定期大会は9月25日に京都高齢者会館にて開催されました。長谷川副執行委員長の開会の挨拶ではじまり、大会諸役員が選出されました。

橋本執行委員長の挨拶

では、国民（世論）を二つに分断した、与党への批判と時間外労働規制問題、二つの争議（大田貨物班への不当判決・内田ラインの解雇撤回）支部の役割は更に重要になっており、その役割に



橋本執行委員長

応える運動を強化・団結していくことが求められていることを強調され、議案の提案を受け、質疑・討論に入りました。執行部の総括答弁の後、全ての議案が確認されました。コロナ禍

拡大に向けた運動や平和憲法を守る運動、パワーアップ試験の分会全員の受講の取り組みなど、先駆的役割を果たした4組織を表彰されました。



新役員

執行委員長	橋本 稔
副執行委員長	重村 周治
副執行委員長	長谷川 達三
副執行委員長	吉村 謙二
書記長	足立 浩
会計監査	緒方 秀樹・宮出 朋枝・安井まどか

執行委員	太田 貴志・高橋 泰治
	上出 芳浩・大山 遼太
	多田 悟・鈴木 政志
	永井 史郎・武田 健一
	安藤 誠・富田 一昭